

2024年2月期 第2四半期決算

(2023年3月1日～2023年8月31日)

2023.9.29



目次

- ソリューション提供モデルと経営環境
- 2024年2月期 第2四半期 決算概要
- 2024年2月期 通期 業績見通し
- 22-24年度 中期経営計画 ～ 2023年度上期遂行状況 ～

ソリューション提供モデルと 経営環境



 45th YE DIGITAL

ソリューション提供モデルと経営環境

ソリューション提供モデル

経営環境

顧客・ユーザー

① ビジネスソリューション

ビジネスDX
(ERPソリューションなど)

顧客向けシステム開発

⋮

② IoTソリューション

物流DX

畜産DX

スマートシティ

⋮

③ サービスビジネス

SmartService AQUA

- ・サステナビリティ経営の重要性
- ・人的資本経営の重視(人材育成、多様な人材の活用、インゲージメント等)
- ・社内DX、業務改革の推進・強化 など

① ビジネスソリューション

- ・「2025年の崖」の直面と克服、ITシステムの老朽化/IT人材不足
- ・国内のDXの取り組みの遅れ、未着手企業が多数

② IoTソリューション

- ・人手不足/従事者の高齢化(畜産業界、物流業界など)
- ・環境問題や食品ロス問題等の対応(地球温暖化、畜産環境問題、食品ロス・廃棄ロスなど)

③ サービスビジネス

- ・クラウド需要の拡大と成長
- ・消費行動の変化と多様性の進化
- ・ビジネスモデルの創出と進化
サブスク、シェアリングエコノミーなど

2024年2月期 第2四半期 決算概要



 45th YE DIGITAL

2024年2月期第2四半期（累計）業績サマリー

売上高

過去
最高

9,749百万円 (+37.6%)



ERPソリューション、物流DX分野が引き続き好調

営業利益

過去
最高

715百万円 (+411.8%)



間接費や原価率の上昇が発生するも売上増により大幅増益

営業利益率

7.3% (+5.4pt)



営業利益率も大幅改善

※()内の数値は対前年同四半期比

2024年2月期第2四半期（累計）業績

- DX化需要の増加に伴い、ビジネスDXや物流DXが好調に推移し、**大幅に増収増益**
- 要員・賞与増による間接費増や外注委託費増による原価率上昇が発生するも、売上増により**利益大幅増**
- 売上高、利益面のいずれも**過去最高**を更新

単位：百万円
(百万円未満切捨て)

	2022年度 第2四半期実績	2023年度 第2四半期実績	増減率	2023年度 通期 業績予想	進捗率
売上高	7,083	★ 9,749	+37.6%	18,300	53.3%
うち ビジネスソリューション	5,228	7,502	+43.5%	13,640	55.0%
うち IoTソリューション	1,854	2,247	+21.2%	4,660	48.2%
営業利益	139	★ 715	+411.8%	1,200	59.6%
経常利益	97	★ 767	+691.0%	1,250	61.4%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	304	★ 473	+55.5%	770	61.4%
1株当たり 四半期・当期純利益金額：円	16.79	26.11	+9.32	42.46	—

※サービスビジネスの売上は、ビジネスソリューションとIoTソリューションに含まれています。
 ※通期業績予想は、第2四半期決算発表時(2023年9月29日)に上方修正いたしました。
 ※★は過去最高

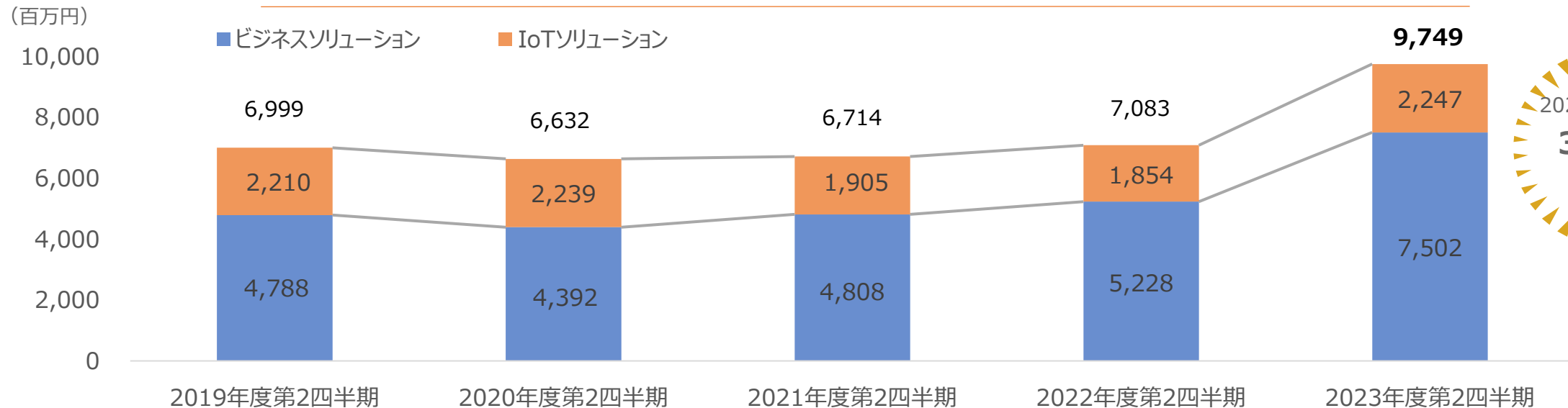
2024年2月期第2四半期（累計） 事業別の概要

ビジネス ソリューション

- **売上高は75億2百万円（対前年同四半期比43.5%増）**
- ERPソリューションは、当社プライムでのビジネスDX推進・構築の継続的な取組みで引き続き好調に推移し、前年同四半期に比べ増加
- 健康保険者向けシステム構築は、増加
- 移動体通信事業者向け開発は、減少

IoTソリューション

- **売上高は22億47百万円（同21.2%増）**
- 物流DX事業は、旺盛な需要に対するソリューション拡販により前年同四半期に比べ増加
- インターネット・セキュリティ関連製品は、増加
- 畜産DX分野やスマートシティ向けソリューションは、堅調に推移
- 生産ライン等のFAシステム構築、食品加工向けなどのAI・IoT製品は、減少



2020年度2Qから
**3期連続
増収!**

営業利益増減要因分析（前年同四半期比）

(百万円)

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

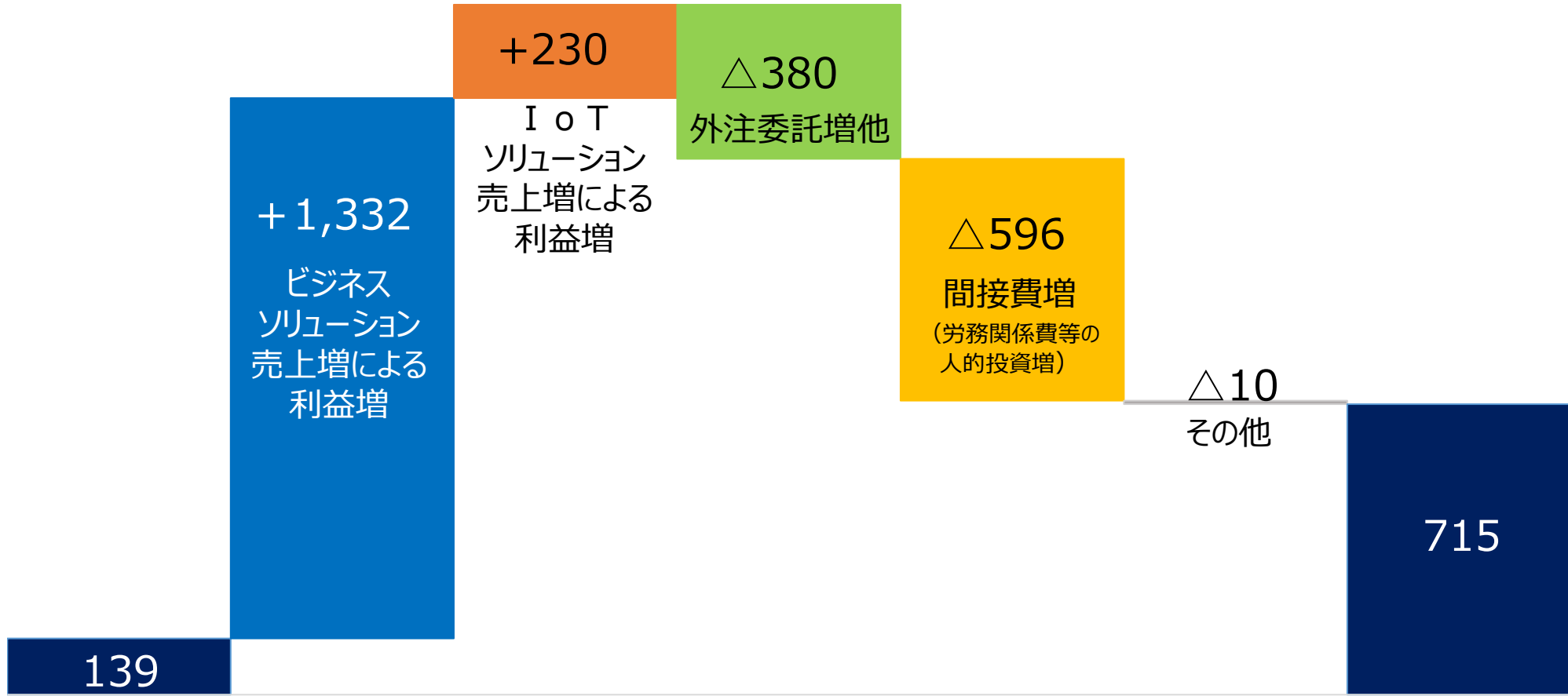
800

600

400

200

0



2022年度
第2四半期
営業利益

2023年度
第2四半期
営業利益

2024年2月期第2四半期 貸借対照表 (対前連結会計年度末比)

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2022年度 期末残高	2023年度 第2四半期末残高	増減額	主な内訳
流動資産	8,367	8,982	+614	現金及び預金 4 億51百万円増、仕掛品64百万円増、商品及び製品41百万円増、その他 2 億21百万円増、受取手形、売掛金及び契約資産 1 億68百万円減
固定資産	3,278	3,376	+98	無形固定資産 4 百万円増、退職給付に係る資産 3 百万円増、その他 1 億51百万円増、有形固定資産54百万円減、繰延税金資産 5 百万円減
資産合計	11,645	12,358	+713	
流動負債	4,480	4,709	+228	支払手形及び買掛金 1 億27百万円増、その他 1 億44百万円増、契約負債57百万円減
固定負債	2,119	2,078	△41	退職給付に係る負債41百万円減
株主資本	5,150	5,533	+382	
純資産	5,044	5,570	+525	利益剰余金 3 億82百万円増、新株予約権 1 億13百万円増、退職給付に係る調整累計額24百万円増
負債純資産合計	11,645	12,358	+713	
自己資本比率	40.8%	41.8%	+1.0%	
ROE	17.2%	-	-	

2024年2月期
通期 業績見通し



 45th YE DIGITAL

2024年2月期 通期 業績見通し

- DX推進を背景とした需要は増加傾向にあり、**通期業績見通しを上方修正**
- ビジネスDXでの好調継続、需要が旺盛な物流DXでの拡販などにより、目標達成を目指す
- 配当方針、通期業績見通しを踏まえ、**年間配当予想を上方修正**

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年度 前回予想	2023年度 今回予想	前回予想比		2022年度 実績	前年度実績比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	18,000	18,300	+300	+1.7%	16,151	+2,148	+13.3%
営業利益	1,100	1,200	+100	+9.1%	909	+290	+31.9%
経常利益	1,150	1,250	+100	+8.7%	836	+413	+49.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	700	770	+70	+10.0%	783	△17	△2.2%
1株当たり当期純利益金額：円	38.60	42.46	+3.86	—	43.19	△0.73	—
年間配当金（うち中間配当金）	10円(5円)	12円(5円)	2円(—)	+20.0%(—)	10円(5円)	2円(—)	+20.0%(—)

※前回予想：2023年8月25日発表の修正予想値

22-24年度 中期経営計画

～ 2023年度上期遂行状況 ～

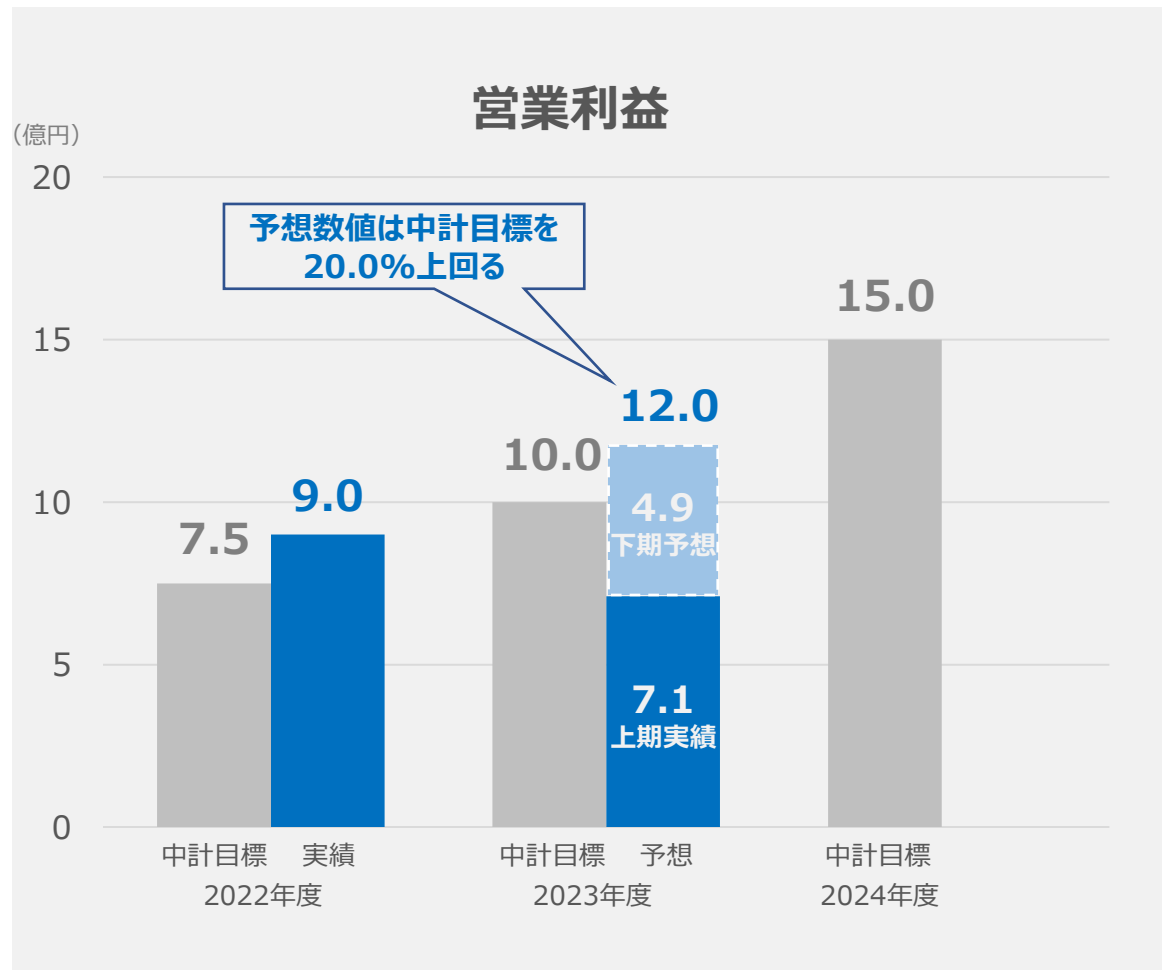
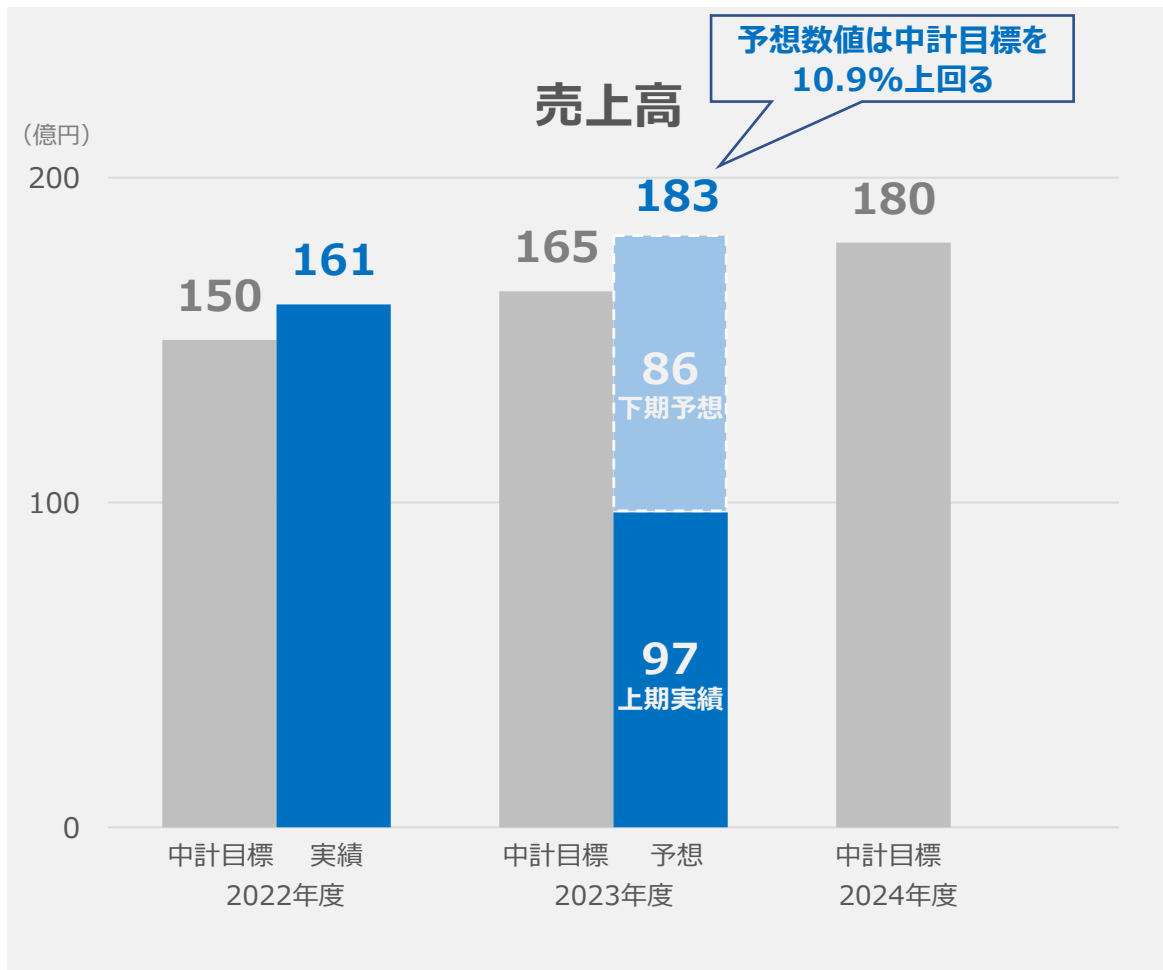


YE 45th **YE DIGITAL**

22-24年度 中期経営計画の遂行状況

遂行状況

売上高は2024年度目標を前倒して達成予定！ 営業利益は2024年度目標15億円が見えてきた！



22-24年度 中期経営計画の基本方針

お客様に選ばれる「No.1企業」へ

変革と挑戦により、お客様に感動を与える画期的なソリューションを提供し、「お客様に選ばれるNo.1企業」を実現する

方針1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

- ① 経験と実績を活かしたビジネスDXの展開と拡大
- ② 強い信頼構築による顧客エンゲージメントの深化
- ③ 事業成長に向けたDX人材の育成と配置の最適化

方針2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

- ① 中核事業へと成長する売上拡大・展開の仕組み構築
- ② 期待に応えるプライムベンダーとしての地位獲得
- ③ 持続的成長につながるAI・IoTビジネスモデルの確立と定着

方針3. 顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

- ① DXとIoT事業の基盤となるサービス化の促進
- ② AQUAを起点とするカスタマーディライトの創出
- ③ AI・IoTの活用領域を広げるサービスビジネスの創造と拡大

方針4. 社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

- ① 変革をリードする戦略的人材の育成
- ② 挑戦と成長を応援する働きがいのある会社の実現
- ③ 競争優位性を確立するDX Next Stageのステップアップ

22-24年度 中期経営計画 2023年度上期遂行状況

方針 1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

2023年度の
取組み

大規模プロジェクトの計画どおり完遂と戦略的パートナーとの協業による新規案件獲得

遂行状況

大規模プロジェクトの確実な遂行による顧客信頼の向上

- ・ プロジェクトの成功に向けて、プロジェクト遂行/管理を推進
- ・ 適切なマネジメントにより、計画の遅れなどプロジェクト上のリスクを抑制



協業パートナーとの連携によるビジネスDXの拡大

- ・ 戦略的パートナーのAbeam社との連携によりERP領域を超えたビジネスDX推進
- ・ サービスビジネスとの連携強化でDX運用ソリューションを構築



22-24年度 中期経営計画 2023年度上期遂行状況

方針2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

2023年度の
取組み

主要プロダクトの顧客・ユーザー獲得の加速・拡大とストック率向上による収益拡大

遂行状況

物流DX



MMLogiStation

- ・ 物流DXの波に乗り、引合い・受注好調

MMPredict

- ・ EC物流倉庫の装置監視領域へ展開

畜産DX



Milfee

- ・ ターゲット市場での営業活動強化
- ・ 政府による飼料流通合理化支援の適用検討・推進

スマート
シティ



**MMsmart
BusStop**

- ・ 大手バス事業者や自治体へのアプローチ強化
- ・ スマートバス停 合併会社 (machiDEA〔マチディア〕) 設立

22-24年度 中期経営計画 2023年度上期遂行状況

方針3. 顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

2023年度の
取組み

ビジネスDXやAI/IoT事業と連携した、
AQUA発信のサービスビジネスの確立とサービスレベルの向上

遂行状況

ビジネスDX

- ・ ビジネスDXサービスモデルの新規顧客獲得
- ・ 健康保険者向けシステムの運用保守サービスをSIシステム部門から移換



ストック率の拡大

Smart Service **AQUA**

サービスビジネスの確立
サービスレベルの向上

AI/IoT

- ・ サブスクリプションモデルの確立に向けた検討/設計を遂行
- ・ 特に物流DX分野でのサブスク化を検討

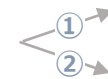


22-24年度 中期経営計画における成長を支える人材への投資

方針 4. 社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

【当社のサステナビリティ】

IT企業として、現在から将来への①ニーズに応えることのできる人材と能力を確保するとともに、
②社員全員が働きがいを持って仕事と役割を遂行できる会社経営を実現



イノベーション力（挑戦と成長）

従業員の働きがい

これまでの取組みと実績

①人材への投資

- 若手のチャレンジ機会の創出
- 女性の管理職登用の推進
- 海外研修

②働き方への投資

- オフィス環境・ツールの整備
- エンゲージメントサーベイによる社員の意見反映
- メンタルコーチ常駐によるメンタルサポート

人材・働き方への投資

従業員が育ちやすく、働きやすい環境が整備される

さらなる投資が可能になる

持続的成長

会社・事業の成長

人材・働きがいの成長・向上

人材の成長（イノベーション力）


- 若手の抜擢
- 女性管理職の増加

従業員の働きがいの向上

- 平均勤続年数：約16年
- 離職率：約1.5%
(2022年度実績)

従業員のパフォーマンスが上がる

- 中期経営計画達成に向けて、順調な進捗
- 2023年度2Q実績 売上・利益 過去最高を更新

 デジタルで、
暮らしに明るい変革を。

